

令和7年度4月 入学式

式辞

桜花爛漫の中、山梨県立大学は国際政策学部92名、人間福祉学部85名、看護学部100名、三年次編入生5名、大学院人間福祉学研究科4名、看護学研究科7名、さらに本年度から開設された助産学専攻科7名、総勢300名の学生を迎えることができました。

新入生の皆さん、入学、誠におめでとうございます。幾多の試練を乗り越え、本学に入学された皆さんのこれまでの真摯な努力に、心から敬意を表します。そして、今日まで皆さんを支え、励ましてこられたご家族、ご親族、関係者の皆様に、心よりお慶びを申し上げます。

また、ご来賓の皆様には、平素より本学の教育研究にご理解とご支援を賜り、深甚なる敬意を表します。本日、公務ご多忙の中、ご臨席賜りました山梨県副知事 石寺 淳一（いしでら じゅんいち）様をはじめ、ご臨席の皆様には厚く御礼申し上げます。

さて、科学の進歩に基づく社会の高度化やグローバル化の潮流は、私どもの生活に大きな変革をもたらしています。特に情報技術（IT）や人工知能（AI）の進化は目覚ましいものがあり、今や経済の価値の中心はモノから情報やサービスへ移行し、日常生活の中で生成AIが汎用される時代となっています。

皆さんには、間違いなく今後も生まれてくるであろう新しい理論や技術を恐れるのではなく、それらを積極的に理解して適切に活用し、未来社会を創造していく開拓者である「イノベーター」になって欲しいと願っています。

大学での学びは、高校までとは大きく異なります。すでに決められた教科書を反復する「勉強」ではなく、自らの探究心を起点に対象を見つけ、問いを立て、調べ、考え、仮説を実証していく、自発的で創造的な学びが求められます。固定観念にとらわれず、多様な経験を通して、本当に情熱を傾けられるテーマを見つけ出してください。知的好奇心から物事を体系的に学んで理解し、思索を深め、

真理を追究していくことは、自らを成長させ、人生を豊かにするとともに、ひいては新たな社会価値の創造に寄与していくことに繋がっていくのです。

学びは、講義室や実習室での学修に留まりません。友人をはじめとする様々な人々との交流や地域社会での実践活動など、その全てが学びの糧になります。他者と意見をかわす中では、自分の思い込みや偏見に気付くことも多いかもしれません。自らの学びで得た知識や考え、そしてその実証から得られた知見を基に、異なる視点を持つ人たちと議論をくりかえしつつ、答えを求めていく姿勢が何よりも重要です。とりわけ大学院での研究においては、自らの研究成果を学会等で積極的に公表し、同じ学問分野の教員や研究者たちからの厳しい批判や評価に真剣に向き合い、修正と検証を繰り返す中で新たな「知」を創造していくことが重要になります。

さて、本学では長年にわたり、国や地域と連携した「知」の拠点大学による地方創生推進事業であるCOC事業、COC+事業、そしてCOC+R事業、さらに大学等連携推進法人制度を利用した「大学アライアンスやまなし」など、文部科学省や内閣府の教育改革事業に、全国の国公立大学の中で唯一、継続的に採択され、本学は日本の大学教育改革の最前線を担っています。

このうち、COC+R事業の取り組みでは、地域や首都圏の関係機関と共同で「アントレプレナー養成」や「観光高度化人材育成」など、5つの実践的教育プログラムを展開してきました。各プログラムの全ての科目は、昨年度より本学教養教育部門の「全学共通科目」の中に位置づけ、3学部の学生は誰でも履修することが可能になっています。企業や行政で活躍中の専門家を特任教員として招聘し、社会人にも開放している特色ある選択科目が揃っていますので、新入生の皆さんには、積極的に履修を検討していただくことを期待しています。

一方、現在推進している文部科学省からの受託事業「地域活性化人材育成事業（SPARC）」では、国際政策学部に「創発デザインコース」を、人間福祉学部と看護学部には、両学部横断型の「ヒューマンサービスイノベーションコース」を開設しました。これらの専門コースではデジタルトランスフォーメーション（DX）の活用と他分野の連携による創造的な学びを通して、それぞれの専門性

を深め、未来を育む価値創造人材を育成していきます。

本学の学びは、地域社会に留まることなく、海外にも開かれています。本学は、世界 12 の国と地域に広がる 26 の大学との連携を通して、国際的な視野を養う機会を提供しています。留学プログラムや留学生との交流は、グローバル化が進む現代において、世界が多様な価値観と文化で成り立っていることを知る、かけがえのない経験となることでしょう。

このように本学では、皆さんが学びたいことを自分で設計して学ぶことができる選択科目や教育プログラムを数多く用意しています。また、大学院や専攻科、認定看護師教育課程など、高度な知識や研究力、実践力を養う専門課程での学びも年々充実させてきております。入学生の皆さんには、学生時代でしか得られない「学びの機会」を存分に生かし、自ら学びの道を切り開いていってください。

結びに、山紫水明の自然に恵まれ、悠久の歴史と独自の文化が息づくこの甲府盆地に、我々の学び舎があります。地域はまさに社会の最前線であり、この地全体が、学びのキャンパスとなる理想郷と言えるでしょう。

皆さんには地域社会を支えるリーダーであり、地域から未来社会の源流を生み出すイノベーターとなるべく、仲間たちと共に有意義な学生生活をおくってください。山梨県立大学は、皆さんの実り多き学びを全力で支援します。

本日は、誠におめでとうございます。

令和7年4月3日

山梨県立大学理 事長・学長 早川正幸